

木耐博士N ver1.0.6からver2.0.0への変更点

アイコンが緑色になります

ver1.0.6までは赤い屋根でしたが、ver2.0.0は緑色の屋根のアイコンとなります



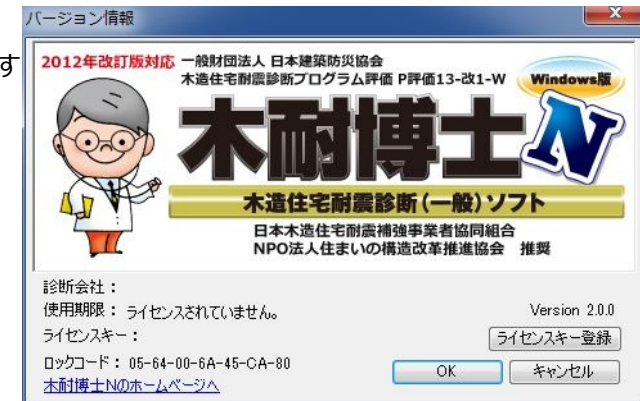
木耐博士N P評価13-W
ver1.0.6



木耐博士N P評価13-改1-W
ver2.0.0

ロックコードの冒頭が05となります

ver1.0.6までは「03-」から始まっていましたが、ver2.0.0では「05-」から始まります
ライセンスキーはver1.0.6でご利用いただいたものと同じライセンスキーをご利用いただけます



木耐博士N ver1.0.6からver2.0.0への変更点

小数点の取扱いが変更になりました



木耐博士N P評価
13-W

赤い屋根ver1.0.6

- ・ 計算の過程では切り上げ切り捨てをしていない数値をそのまま用いて計算する
- ・ 計算途中の数値を表示するにあたっては切り捨てとする。

出力帳票に印字された値を手計算しても数字が合わない場合があります（印字されない小数点以下の値が保持されているため）



木耐博士N P評価
13-改1-W

緑色の屋根ver2.0.0

各種数値の計算に当たり最終的に表示される数字については下記の条件によります。

- ： 評点・Qwi・Qei は小数点第 3 位を【切り捨て】
- ： 必要耐力・床面積は小数点第 3 位を【切り上げ】
- ： 配置による低減係数eKfl・劣化度dK・接合部耐力低減・壁長は小数点第 5 位を【切り捨て】
- ： 床面積あたり必要耐力・積雪用必要耐力は小数第 5 位を【切り上げ】
- ： ~ 以外の項目は小数点第 3 位を【四捨五入】

出力帳票に印字された値を手計算すると、印字された値と一致するようになりました

木耐博士N ver1.0.6からver2.0.0への変更点

【診断専用】下地材に関する操作改良

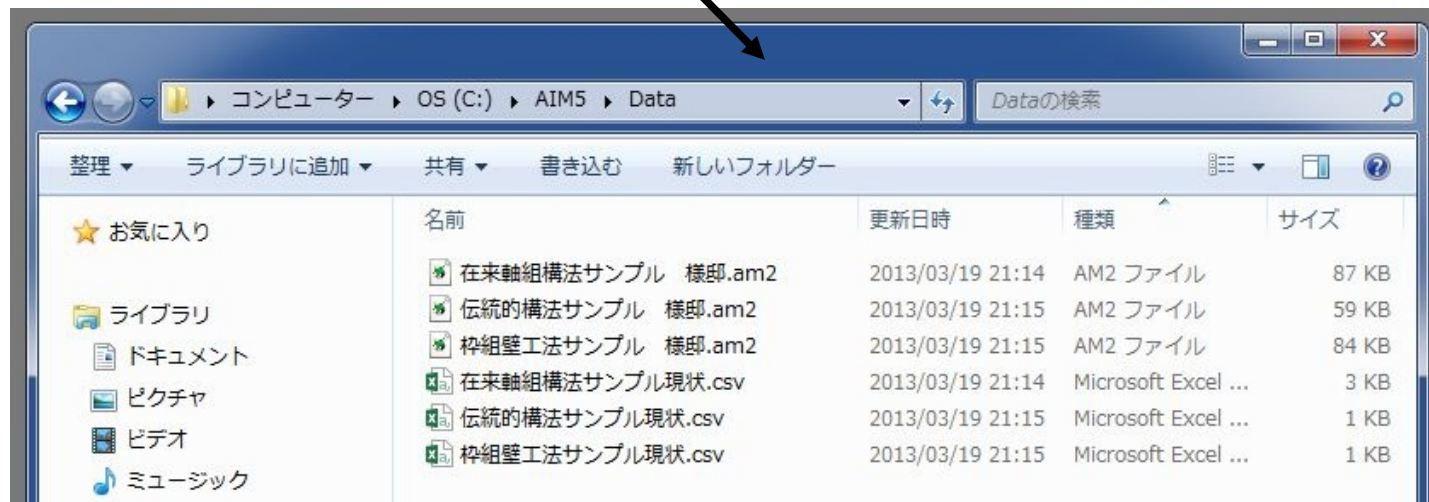
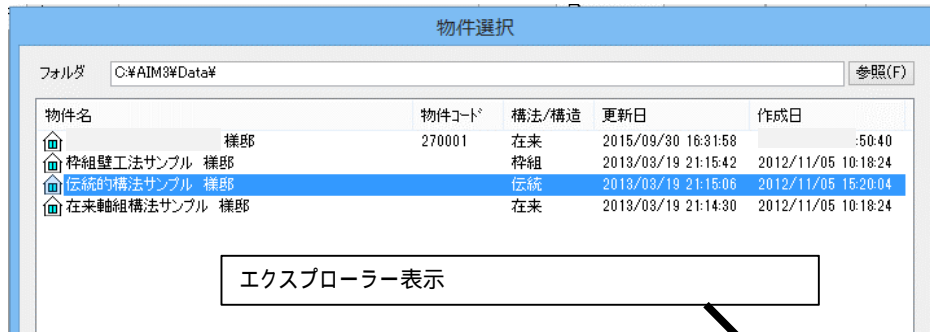
補強案で変更された耐力壁の情報を現状の仕様に戻す機能を追加しました。
補強案で「現状に戻す」にチェックして「OK」を選択すると、現状と同じ下地材に戻ります。



木耐博士N ver1.0.6からver2.0.0への変更点

物件選択からデータの保存フォルダを表示する機能を追加

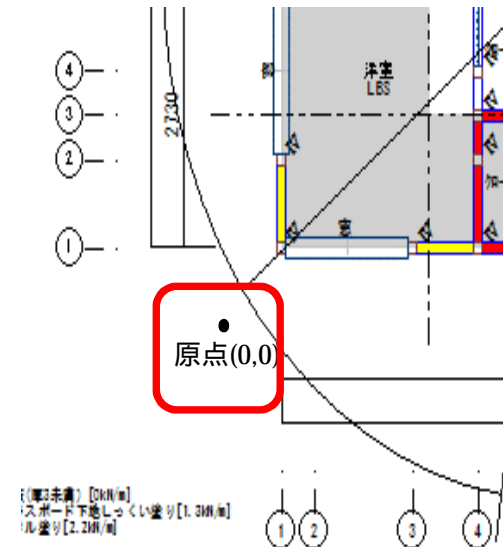
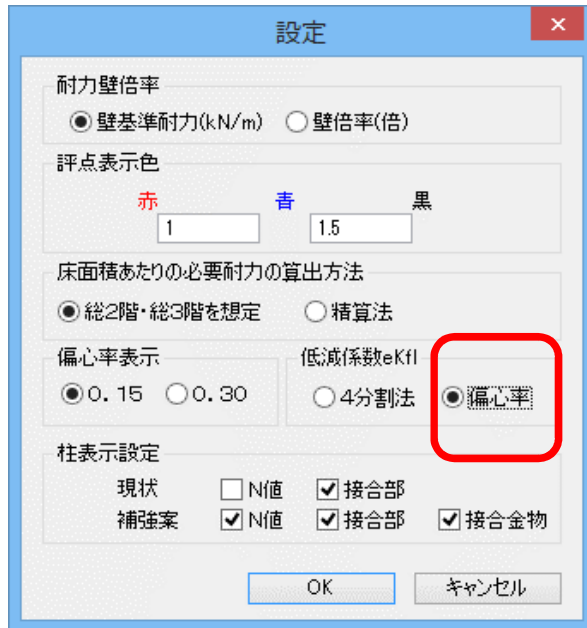
物件選択画面で、選択中の物件上で右クリックすると「エクスプローラー表示」のメニューが表示され、「エクスプローラー表示」をクリックする事で、物件データが保存されているフォルダを開きます。



木耐博士N ver1.0.6からver2.0.0への変更点

平面図にブロック計算の原点を表示

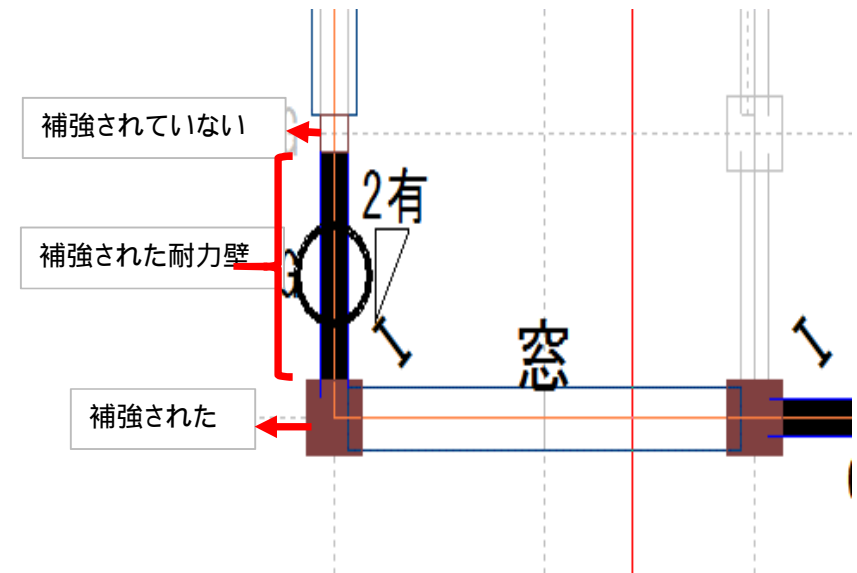
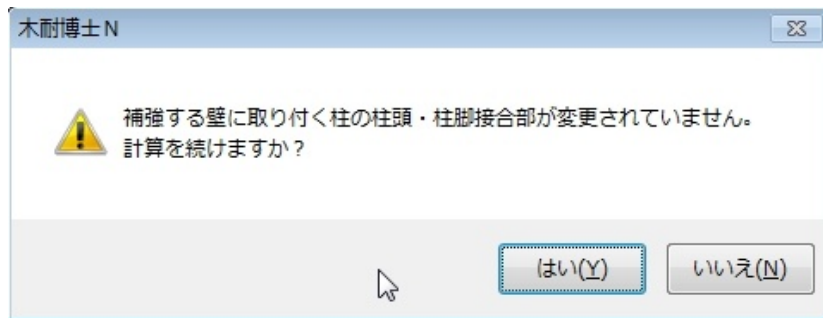
低減係数eKflで偏心率を選択しているときに、平面図に床面積のブロック計算での原点が平面図に表示・印刷されます。



木耐博士N ver1.0.6からver2.0.0への変更点

補強されていない柱がある場合、警告を表示

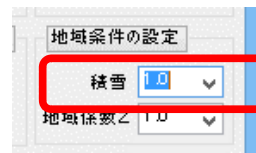
耐震診断を実行したときに、補強された耐力壁の両端の柱が補強されていない場合、「補強された耐力壁端部の柱で未補強の柱があります。計算を続けますか？（はい いいえ）」のメッセージ（警告）が表示されます。
「はい」が選択すると出力データが表示され、「いいえ」が選択されたら元の画面に戻ります。



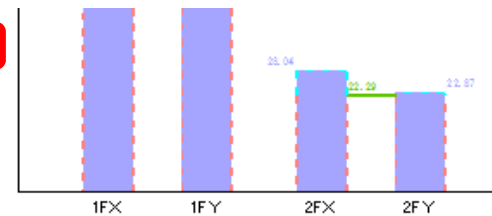
木耐博士N ver1.0.6からver2.0.0への変更点

積雪係数計算時の総合評価に印字される内容を変更

建物概要の積雪欄は必ず建物概要入力画面で設定された「積雪」の情報が印刷されます。
無積雪時の評点が低く、積雪時の評点が高い場合でも、設定時の積雪を印刷されます。



屋根傾斜係数	1.0
積雪	1.0
地域係数2	1.0
形状割増	2階 4m未満
短辺の長さ	1階 4m以上6m未満



F点 U/Or	判定
1.25	一応倒壊しない ○
1.02	一応倒壊しない ○
0.79	倒壊する可能性がある △
0.70	倒壊する可能性がある △

総合評価				
上部構造評点 のうち最低の値	評点	判定		
0.70	1.5以上	◎ 倒壊しない		
	1.0以上~1.5未満	○ 一応倒壊しない		
	0.7以上~1.0未満	△ 倒壊する可能性がある		
	0.7未満	× 倒壊する可能性が高い		
無積雪時の評点	0.75	>	積雪時の評点	0.70

評点の高低には無関係に出力